

会 議 録

会議の名称	那珂川市都市計画審議会 第6回立地適正化計画検討部会		
開催日時	令和2年2月3日(月) 19:00 ~ 20:30	開催場所	本庁舎2階 第3会議室
出席者	<p>1. 委員 柴田委員、野上委員、宮本委員、大橋委員、田中委員、河野委員、大谷委員、内野委員、阿河委員、森重委員、田上委員、坂井委員、八代委員</p> <p>2. 執行機関(事務局) 桐谷都市計画課長、鶴田土地活用・計画担当係長、森山、笹渕(文責)</p> <p>3. その他 福岡県都市計画課横山氏 (株)玉野総合コンサルタント 2名</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 策定経緯の振り返り ・資料2 市民意見聴取会 ・資料3 パブリックコメントの実施結果について ・資料4 新旧対照資料 		
公開区分	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">開示</div> ・ 一部開示 ・ 非開示 (理由:情報公開条例第9条第 号に該当)		
<p>議題及び審議の内容</p> <p>1. 開会 事務局: <開会のあいさつ></p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 市民意見聴取会及びパブリックコメントの結果について 事務局: <市民意見聴取会及びパブリックコメントの結果について説明> 委員: パブリックコメントで市役所近辺が不便との意見に対して改善を求めていくとあるが、具体的な改善策はあるのか。 事務局: 改善策というよりも、現在の利便性の維持のために公共交通を維持することなどを考えている。指摘されているのは商業施設等の充実であるが、立地的には合わない。 委員: 前回も話題になった市役所の移転は現実的に難しいが、まちなかに窓口ができれば良いと思う。 事務局: 検討部会の意見を踏まえ、誘導施設として都市拠点に行政窓口施設を位置付けている。</p>			

(2) 計画内容の修正及び計画全体案について

事務局：＜計画全体案について説明＞

委員：誘導施設に病院があるが、国・県が進めている地域医療計画の中では、病床削減の方針である。矛盾しないか。

事務局：国は、新設というよりも縁辺部にある施設を中心部にできるだけ集めたい（移転）というところに視点を置いていると考える。

委員：目標として「誘導施設の立地数の増加」を掲げているが、必ずしも増加を目標にする必要はなく、維持という形でも良いのではないか。

事務局：都市機能の充実を目標としているため、目標値も増加を基本としていたが、市として必要かどうかで目標値を設定する。病院については、現状である程度のニーズは賄えると考え、施設の維持を目標として修正する。

委員：図書館と文化ホールを別々に誘導施設として設定する必要があるのか。「文化事業の創出や文化的な学びを創出できる機能」であればよいのではないか。

事務局：ご意見を受けて検討したい。

委員：教育施設を誘導施設に位置付けていないのはなぜか。

事務局：本計画の中では学校の移転等を考えていないため、位置付けしていない。

委員：新市街地については、修正案では「新市街地」**区域**として位置付けているが、内容としては、これから新市街地にしていくことを検討する区域であるため、名称は「新市街地検討区域」が良いのではないか。

事務局：市としては実現の可否はともかく、取組の姿勢は示したいとの思いで掲載していた。他市の事例でも同じ表現で作成していたため参考とした。しかし、ご指摘のとおり、新市街地にしていくことを検討する区域であるため、「新市街地検討区域」に修正する。

委員：ハザードマップは今年**3**月に新しくなるのではないか。また、**22**ページの地図（浸水想定区域）をもう少し分かりやすく表現した方が良い。

事務局：新しくなった防災マップで資料の差し替えを行い、掲載内容についても分かりやすい表現になるよう修正する。

委員：各回とも有識者や学識の貴重な意見等があった上で計画がまとめられており、大変勉強になった。

3. その他

部会長：その他何かあるか。

事務局：なし。

4. 閉会

部会長：＜閉会のあいさつ＞